

明治村 だより

冬号 Vol. 34

目次

- 博覧会の褒賞制度と広告意匠の変化…2
- 登録有形文化財に 明治村の建造物 ……4
- 冬の明治村—催しものご案内 ……6
- A La Meiji-mura ……7



▶12月から2月の開村時間と
休村日のご案内

開村時間
9:30~16:00

下記カレンダーの■が休村日です

2003年 12月							2004年 1月				2004年 2月									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
7	8	9	10	11	12	13	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
14	15	16	17	18	19	20	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
21	22	23	24	25	26	27	25	26	27	28	29	30	31	29						
28	29	30	31																	

『明治村 だより』 第35号発行のお知らせ

発行時期 平成16年3月(予定)

申込方法 「明治村だより」第35号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料140円の切手とともに封書にてお申し込み下さい。

表紙 雪中梅荘群児遊戯之図(部分) 楊洲周延 明治20年

平成15年12月10日発行

『明治村だより』第34号(平成15年 冬)

発行 博物館明治村
〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地
電話 (0568) 67-0314
◎ホームページ <http://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

登録有形文化財とは、建築後五十年を経過している建造物で「国土の歴史的景観に寄与しているもの」「造形の模範となっているもの」「再現することが容易でないもの」これらのいずれかを満たしており、文化財保護審議会が審議し、文化庁の原簿に登録されるものです。



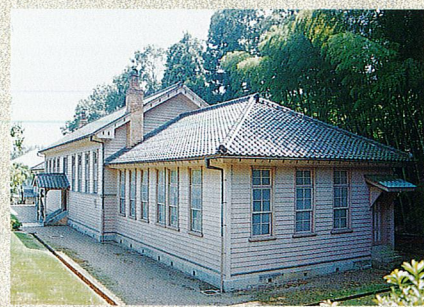
28 茶室「亦楽庵」

旧所在地 / 京都市北区小松原北町
建築年 / 明治10年 (1877) 頃
移築年 / 昭和46年



23 京都七條巡査派出所

旧所在地 / 京都市下京区七條
建築年 / 明治45年 (1912)
移築年 / 昭和44年



15 第四高等学校物理化学教室

旧所在地 / 石川県金沢市仙石町
建築年 / 明治23年 (1890)
移築年 / 昭和40年



10 東京盲学校車寄

旧所在地 / 東京都文京区目白台
建築年 / 明治43年 (1910)
移築年 / 昭和43年



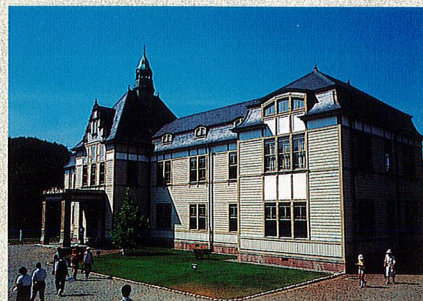
4 近衛局本部附属舎*

旧所在地 / 東京都千代田区千代田
建築年 / 明治21年 (1888)
移築年 / 昭和52年



11 長崎居留地二十五番館本館、別館

旧所在地 / 長崎市南山手町
建築年 / 明治22年 (1889)
移築年 / 昭和41年



25 北里研究所本館

旧所在地 / 東京都港区白金
建築年 / 大正4年 (1915)
移築年 / 昭和55年



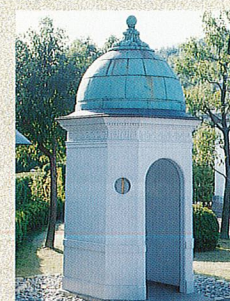
17 清水医院

旧所在地 / 長野県木曾郡大桑村
建築年 / 明治30年 (1897) 代
移築年 / 昭和47年



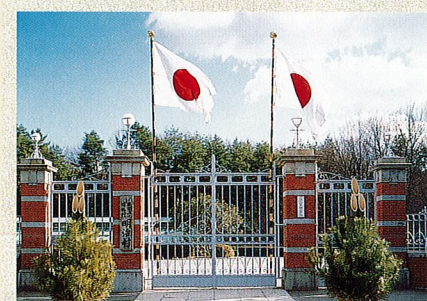
11 二重橋飾電燈

旧所在地 / 東京都千代田区千代田
建築年 / 明治21年 (1888)
移築年 / 昭和40年



5 赤坂離宮正門哨舎

旧所在地 / 東京都港区元赤坂
建築年 / 明治41年 (1908)
移築年 / 昭和57年



1 第八高等学校正門

旧所在地 / 名古屋市瑞穂区瑞穂町
建築年 / 明治42年 (1909)
移築年 / 昭和45年



22 神戸山手西洋人住居

旧所在地 / 神戸市生田区山本通
建築年 / 明治20年 (1887) 代
移築年 / 昭和44年



20 幸田露伴住宅「蝸牛庵」

旧所在地 / 東京都墨田区東向島
建築年 / 明治初年 (1868) 頃
移築年 / 昭和47年



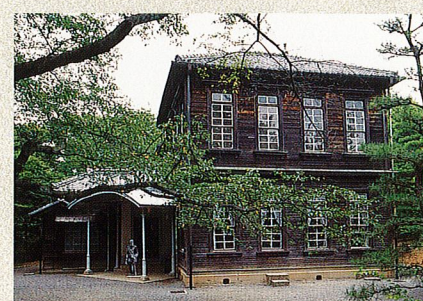
19 京都市中井酒造

旧所在地 / 京都市中京区御幸町通二条
建築年 / 明治3年 (1870)
移築年 / 平成5年



12 鉄道局新橋工場

旧所在地 / 東京都品川区大井町
建築年 / 明治22年 (1889)
移築年 / 昭和41年



7 学習院長官舎

旧所在地 / 東京都豊島区目白
建築年 / 明治42年 (1909)
移築年 / 昭和39年



2 大井牛肉店

旧所在地 / 神戸市生田区元町
建築年 / 明治20年 (1887) 頃
移築年 / 昭和43年



23 宗教大学車寄

旧所在地 / 東京都豊島区西巢鴨
建築年 / 明治41年 (1908)
移築年 / 昭和55年



27 西園寺公望別邸「坐漁荘」

旧所在地 / 静岡県清水市興津清見寺町
建築年 / 大正9年 (1920)
移築年 / 昭和46年



20 安田銀行会津支店

旧所在地 / 福島県会津若松市大町
建築年 / 明治40年 (1907)
移築年 / 昭和40年



11 千早赤阪小学校講堂

旧所在地 / 大坂府南河内郡千早赤阪村
建築年 / 明治30年 (1897) 頃
移築年 / 昭和51年



9 森嶋外・夏目漱石住宅

旧所在地 / 東京都文京区千駄木町
建築年 / 明治20年 (1887) 頃
移築年 / 昭和39年



3 三重県尋常師範学校・蔵持小学校

旧所在地 / 三重県名張市蔵持
建築年 / 明治21年 (1888)
移築年 / 昭和48年

*これまで「皇宮警察署別館」という名称で展示してきたが、建物創建時の名称に戻した。

旧所在地はすべて解体時の地名による。

A La Meiji-mura

※日本建築学会編「日本近代建築総覧」(一九八〇)より



無声堂の剣道場の床下の中心付近には六〇センチメートルほどの溝があり、周辺の深さの倍くらいになっているため、少し低い音に強く共鳴するように工夫されています。まずこれが足で床を踏み込んだときの音を演出します。また、道場の天井は床板と同じような柔らかい材料なので、漆喰の天井のようなキンキンと固い感じの反響にならない上、天井が高いので、残響時間が長くなり、長い反響を演出しています。



写真2 切手倉庫



写真1 郵便発着口

※明治元年に政府の許可を得ない移民は元年者の存在が知られている。

ハワイ移民集会所についての座談会より
(昭和四五年 ヒロタイマス 大久保清 明治村東軍事務所 竹間昌勝)



写真3 ハワイ島の記憶

音の演出

明治村には「無声堂」(第四高等学校武術道場)と呼ばれる武道場があります。これは、かつて第四高等学校(現金沢大学)で使われていたもので、道場は、剣道場、柔道場、弓道場の三つで構成されています。今回は、その中の一つ、剣道場について紹介します。

まず剣道の歴史に少し触れますと、現在の剣道の基礎ができたのは江戸時代の武士階級の確立時だといわれています。その当時、「文武両道」という言葉が示すように、立派な武士となるためには学問と剣術の両方を兼ね備えなければならぬとされました。しかし、明治時代になると武士階級の制度はなくなり、刀を持ち歩くことも禁止され、剣道は一時衰退しました。その後、再び剣道が奨励されるようになるのは警察においてでした。それは西南戦争(明治十年)の教訓として剣術を身につけることが必要とされたからです。一度復興に向かうと、明治二十八年(一八九五)には学校教育の一つとして中学校の正課に剣道が取り入れられました。「無声堂」ができたのは大正六年(一九一七)ですが、その他に現在残っているもので明治・大正・昭和に建てられた武道場を調べると、鳥根県立大社高等学校武術道場(明治三十六年)、九州大学教養部柔道場(大正十一年)、木更津高等学校剣道場(昭和三年)など全部で十七ありました。それらのほとんどが高等学校や大学の施設であり、剣道(武道)は高等教育の場において、むしろ広く普及していたのではないかと思われまます。

さて、剣道場に話をもとしますと、道場では「音」の効果が一つ重要な要素となります。神経を集中させるためには静かなほうがよいのですが、落ちつきすぎても俊敏な動きができません。そこで張りつめた中、足を踏み込んだ音、竹刀の音、「面」「面」とか「胴」という音が適度に響く環境がよいとされています。

無声堂の剣道場の床下の中心付近には六〇センチメートルほどの溝があり、周辺の深さの倍くらいになっているため、少し低い音に強く共鳴するように工夫されています。まずこれが足で床を踏み込んだときの音を演出します。また、道場の天井は床板と同じような柔らかい材料なので、漆喰の天井のようなキンキンと固い感じの反響にならない上、天井が高いので、残響時間が長くなり、長い反響を演出しています。

郵便局の風

宇治山田郵便局は、明治四十二年に伊勢神宮の内宮と外宮とを結ぶ御幸道路と豊川町通りに交わる角地に建てられ、その接点に設けられた大きなドームは、人々を自ずと局舎内に導きます。天を指す尖塔や漆喰塗りの上品なレリーフ等の優美な装飾を持つ女閣風景に加え、実に画期的な設備が整えられているのに驚かされます。その設備の一つに郵便発着口(写真)があります。明治三年、前島密によって郵便事業開始の布告が出されてから、郵便制度は飛躍的な発展を遂げました。明治二十年に入ると、郵便線路の延長と郵便物数の増加に伴い、創業時の郵便脚夫から馬車などによる郵便物運送が採用されました。そこで設けられたのが、郵便馬車のための発着口です。局舎の左翼に面して郵便発着口が設けられ、それは馬車の荷台から局舎内にスムーズに郵便の受け渡しができる八〇センチ程の高さにあります。

この郵便馬車は、明治五年の東京・高崎間に始まり、明治十四年には東京・大阪間の定期線路が開通されました。そこから延長し枝分かれした線路は、明治十八年に大線路・中線路・小線路に分けられ、この等級によって運送回数や速度が決められていました。伊勢神宮に程近い幹線と参道とあいまって、一頭もしくは二頭だけの郵便馬車は、いかにも神の都にふさわしい出で立ちでした。

右翼の裏側に位置する倉庫(写真)です。切手倉庫として使用され、この一室のみが重装備過ぎるほどの防火設備を備えています。周囲四〇センチ余りの防火壁にはじまり、防火天井網入窓と防火シャッター、重厚な鉄板張防火戸は、防火に対する並々ならぬ姿勢と、切手による郵政制度の重要性を感じずにはいられません。

こうした設備とルネッサンスを意識したデザインは、その風格ばかりではなく、郵便業務の近代性を市民にアピールしていたにちがいないと見えます。そして今も尚、宇治山田郵便局は明治の意匠を残しながら、人と人との繋ぐ拠点として活躍し続けています。

※明治元年に政府の許可を得ない移民は元年者の存在が知られている。

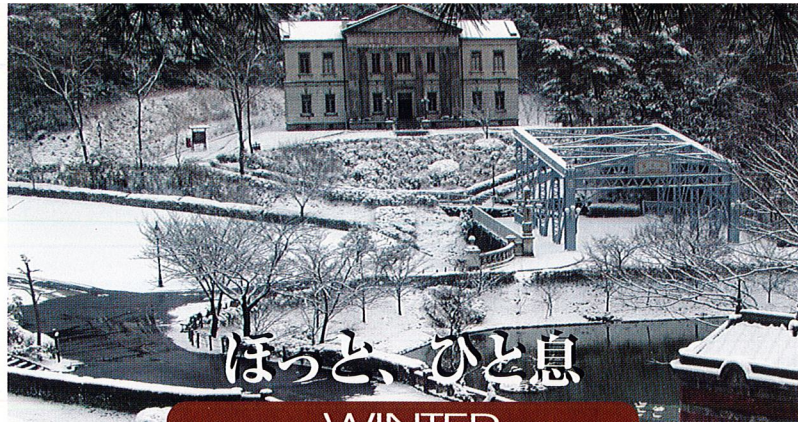
ハワイ島の記憶

明治十四年(一八八二)に来日したハワイ国王カラカウアは日本からの移民を希望し、翌年から本格的な移民が始まりました。*④ハワイ移民集会所は明治二十二年(一八九九)にハワイ島ヒロ市ケアベ街にあった日本人キリスト教会堂です。当時移住していた日系人にキリスト教を伝道した長野出身の岡部次郎牧師によって建てられ、後に教会としての役目を終えるとハワイ島の日系キリスト教徒の社交の場、やがてヒロ市の英字紙トリビューン・ヘラルド社の倉庫となり昭和四十二年(一九六八)夏まで使用されていました。

建物回りのハワイ島ならではの工夫が紹介しよう。建物の入口に橋のようなものがかかっています。これは「雨の都」と言われているほど非常に雨が降る地域です。その度に地面がぬかるむため、このようなアーチ型の橋を渡って人々が靴を汚さないで中に入ることができたための工夫がされています。また、入口の左に「ベベケオ耕地の鐘」があります。この鐘はハワイ島ベベケオ耕地で日本移民の起床や作業開始の合図に使われたものです。農業移民は朝四時半からこの鐘で起これ、食事、支度の後、午前六時から午後四時半まで三十分間の昼食休憩時間をはさんで十時間の重労働を行いました。そのため移民はこの鐘を「起こしの鐘」と呼び、大変嫌っていたそうです。

この建物の右奥に木製の白い「X印」の鉄道標識が立っています。これはサトウキビを運んだシユガール・トレインの「踏切」の標識として、実際にサトウキビ畑で使われていたものです。

ハワイ移民集会所についての座談会より
(昭和四五年 ヒロタイマス 大久保清 明治村東軍事務所 竹間昌勝)



ほっと、ひと息

WINTER 冬の明治村

◆尾張富士天然水「足浴」

12月6日「半田東湯」にオープン
表構え、番台などに江戸の湯屋建築のおもかげが残る「半田東湯」。知多半島の港町亀崎に明治の末頃建ったと推定され、半世紀にわたって営業されていました。この半田東湯に尾張富士の天然水を使用した暖かな足浴場がオープンいたします。

●クリスマスイベント●

クリスマスデコレーション
村内の教会や洋館がロマンティックなクリスマス装飾に包まれます。明治村ならではの雰囲気をお楽しみいただけます。

クリスマスミサ (12/21 11:00~) 聖ザビエル天主堂
ゴシック建築の聖ザビエル天主堂において荘厳なクリスマスミサが執り行われます。



ハンドベルコンサート (12/21 13:00~・14:00~)
聖ザビエル天主堂
金城学院中学校ハンドベルクワイアによるハンドベルコンサートです。冬の澄み切った空気の中、堂内にハンドベルの音色が響き渡ります。

クリスマスコンサート (12/23 14:00~) 聖ザビエル天主堂
フルート・トランペット・ピアノ・ソプラノなどによるクリスマス民謡や教会音楽のコンサートです。心弾むひと時をお楽しみください。

ボランティアガイド
★村内定期ガイド
①正門からの学習院長官舎までのご案内するガイドツアーです。正門前ボランティアブス出発 11:00~・13:30~ (所要時間 約30分)
★予約制ガイドツアー(要予約)
団体のお客様を対象にした予約制のツアーです。ボランティアガイドとともに明治村を楽しく見学してみませんか。所要時間は1時間~1時間30分。モデルコースもいろいろ取り揃えています。

予約 TEL 0568-67-0314 明治村のホームページからも予約ができます。www.meijimura.com

※催事は都合により変更する場合がありますので、詳細については事前にお問合せ下さい。

平成15年12月6日(土)~
平成16年2月29日(日)

休村日 12/1・8・15・22・29・31
1/19・26
2/2・9・16・23



●初春イベント●

正月飾り (1/1~1/12)
村内の日本家屋を中心に伝統的な正月飾りをいたします。新春の雰囲気をお楽しみください。

新春鏡割り (1/1, 11:00~) 呉服座前

祝餅つき (1/2・3, 12:00~・13:30~) 呉服座前
パフォーマンスをしながらの賑やかな餅つきです。つきたてのお餅がふるまわれますので、お召し上がりください。



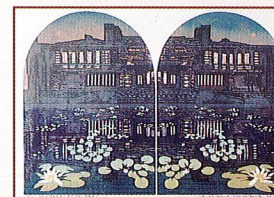
特別展「はつはるの錦絵展」

(1/1~2/29) 三重県庁舎
正月や待ち遠しい春がテーマの錦絵と平成16年の干支「猿」に因んだ郷土玩具を展示します。華やいだ錦絵の世界と信仰の対象にもなった猿の郷土玩具をお楽しみ下さい。



HOT ホットギャラリー

東山梨郡役所2階
暖かなギャラリーで、前田守一の本版画「明治はるあき」と心安らぐメロディーをお楽しみください。



前田守一画「帝国ホテル」

建物ガイド

村内4ヶ所の建物では、下記の時間にガイドがご案内いたします。一般公開されていない建物の内部を、詳しい説明とともにご見学ください。

⑥西郷従道邸 ⑩東松家住宅 ⑦西園寺公望別邸「坐漁荘」④呉服座
10:40 11:00 11:20 11:40 13:00 13:20 13:40 14:00
(所要時間 各約15分)

「お多福券」プレゼント (12/20~1/12)

期間中にご来村の皆様「馬車割引券」や「あそび割引券」などをセットした「お多福券」をプレゼントいたします。

プレミアムガイドツアー(予約制)

明治の貴重な建造物などの文化財を学芸スタッフによる案内付きで巡るガイドツアーです。電動車を使って広い村内を楽々移動。お客様の目的に合わせたルート設定もできます。所要時間は1時間30分。料金は4名様まで10,000円、5名様12,000円、6名様14,000円です。(入村料別)